

第1回「健やか親子21」推進検討会 議事次第

平成17年2月24日(木)

10:00~12:00

於：航空会館501・502会議室

1 開 会

- ・局 長 挨 拶
- ・委 員 紹 介
- ・座 長 選 出

2 議 題

- (1) 「健やか親子21」推進に向けての検討の進め方について
- (2) 「健やか親子21」推進の状況について
- (3) 「健やか親子21」の中間評価の進め方について
- (4) 食を通じた妊産婦の健康支援方策に関する検討の進め方について

3 その他

4 閉 会

〈配布資料〉

- 資料1 「健やか親子21」推進検討会開催要綱
- 資料2 「健やか親子21」推進に向けての検討体制
「健やか親子21」推進検討会スケジュール
- 資料3 「健やか親子21」と関連施策の流れについて
- 資料4 「健やか親子21」の推進状況について
- 資料5 中間評価の進め方について
- 資料6 食を通じた妊産婦の健康支援方策に関する検討の進め方について

「健やか親子21」推進検討会 開催要綱

厚生労働省雇用均等・児童家庭局

1. 目的

現在、21世紀初頭における母子保健の国民運動計画として「健やか親子21」を推進しているところであるが、中間年である2005年（平成17年）には、これまでの実施状況等を評価し、2010年の最終評価も視野においた必要な見直しを行うこととされており、そのための検討を行う必要がある。

また、「健やか親子21」の指標の1つである「低出生体重児の割合」については増加の一途にあり、諸外国では胎児期の栄養不良が代謝調節異常を引き起こし、成人後に生活習慣病の発症につながるという医学仮説（成人病胎児期発症説（Barker説））を支持する調査研究もみられ、生涯を通じた健康影響が懸念されてきていることから、妊娠・出産期における食生活支援のための具体的方策が求められている。

このため、「健やか親子21」の中間評価や、食を通じた妊産婦の健康支援方策など「健やか親子21」の推進について検討を行うことを目的として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長が学識経験者・関係団体代表者等の参集を求め、開催するものである。

2. 構成

- (1) 検討会の構成員は別紙のとおりとする。
- (2) 検討会に座長を置く。

3. 検討項目

- (1) 「健やか親子21」の中間評価について
- (2) 食を通じた妊産婦の健康支援方策について

4. 運営

- (1) 検討会は公開とする。
- (2) 検討会の庶務は、雇用均等・児童家庭局（母子保健課）で行う。

5. その他

この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が雇用均等・児童家庭局長と協議の上定める。

「健やか親子21」推進に向けての検討体制

「健やか親子21」推進検討会

(学識経験者及び関係団体代表者等から構成
検討メンバー20名)

〈検討課題〉

- ◆「健やか親子21」中間評価について
- ◆食を通じた妊産婦の健康支援方策について

開催予定

平成17年2月

6月

10月

平成18年2月

最終報告
平成18年2月

報
告

作業メン
バー！
検討事項の了承

最終報告
平成17年10月

「健やか親子21」中間 評価研究会

(学識経験者9名)

[3～12月:4回程度開催]

〈検討事項〉

- ◆各指標についての達成度の分析
- ◆新たな指標の現状値の設定
- ◆地方自治体の取組状況の分析
- ◆今後の評価のためのデータ収集方法・システムの検討 等

食を通じた妊産婦の健康 支援方策研究会

(学識経験者 6名)

[3～8月:4回程度開催]

〈検討事項〉

- ◆妊産婦のための食生活指針の作成
- ◆妊娠期の至適体重増加チャートの作成
- ◆上記の解説マニュアルの作成

「健やか親子21」中間評価 研究会名簿

- 尾島 俊之(自治医科大学公衆衛生学
助教授)
- 加藤 則子(国立保健医療科学院
研修企画部長)
- 川島 広江(川島助産院 院長)
- 清古 愛弓(東京都教育庁学務部学校
健康推進課 課長)
- 玉腰 浩司(名古屋大学医学部・大学院
医学系研究科 助教授)
- 藤内 修二((社)地域医療振興協会
ヘルスプロモーション研究
センター 理事)
- 中板 育美(国立保健医療科学院
公衆衛生看護部 研究官)
- 松浦 賢長(福岡県立大学看護学部 教授)
- 山縣 然太朗 (山梨大学大学院医学
工学総合研究部 教授)

食を通じた妊産婦の健康支援 方策研究会名簿

- 堤 ちはる((社福)恩賜財団母子愛育会
日本子ども家庭総合研究所
母子保健研究部栄養担当部長)
- 平原 史樹(横浜市立大学大学院医学研究科
教授)
- 福井 トシ子(杏林大学医学部付属病院
看護部長)
- 福岡 秀興(東京大学大学院医学系研究科
発達医科学 助教授)
- 本田 佳子(女子栄養大学 教授)
- 吉池 信男(独立行政法人国立健康・栄養
研究所 研究企画・評価主幹)

○印 研究会とりまとめ予定

下線 「健やか親子21」推進検討会メンバー

「健やか親子21」推進検討会スケジュール（案）

	「健やか親子21」推進検討会	「健やか親子21」 中間評価研究会	食を通じた妊産婦の 健康支援方策研究会
2月24日	○第1回検討会 ・評価方法の検討		
3月	(郵送) 調査票の内容検討	○第1回研究会 ・調査票作成 ・調査票確定	○第1回研究会
4月		↑ 指標の調査 ↓ 自治体の調査	○第2回研究会
5月			○第3回研究会
6月	○第2回検討会 ・推進協議会の取組の評価方法検討 ・妊産婦の健康支援方策報告書の骨子検討	○第2回研究会	
7月		↑ 推進協議会の調査 ↓	
8月		↑ 指標の達成度の分析・ 評価 ↓ 推進協議会、自治体の 取組評価	○第4回研究会
9月			
10月	○第3回検討会 ・各指標の評価、推進方策の検討 ・新しい指標の検討 ・推進協議会、自治体の取組評価 ・経年的データシステム検討 ・妊産婦の健康支援方策報告書取り まとめ	○第3回研究会	
11月		○第4回研究会	
12月			
18年1月			
2月	○第4回検討会 ・報告書取りまとめ		

「健やか親子21」と関連施策の流れについて

1. 「健やか親子21」ができるまで

- 平成12年2月 児童家庭局長委嘱の「健やか親子21検討会」（座長：平山宗宏 母子愛育会日本子ども家庭総合研究所長）が発足。
21世紀の母子保健のビジョンを示すために、31名の委員にて9回検討会を行った。
- 平成12年11月「健やか親子21検討会報告書」が取りまとまった。

2. 「健やか親子21」の性格

- 21世紀の母子保健の主要な取り組みを提示するビジョンであり、かつ、関係者、関係機関・団体が一体となって推進する国民運動計画。
- 少子化対策および健康日本21の一翼を担うという意義を有する。
- 10年間（2001年～2010年）の計画で、5年後（2005年）に計画の見直し。

3. 基本的な視点

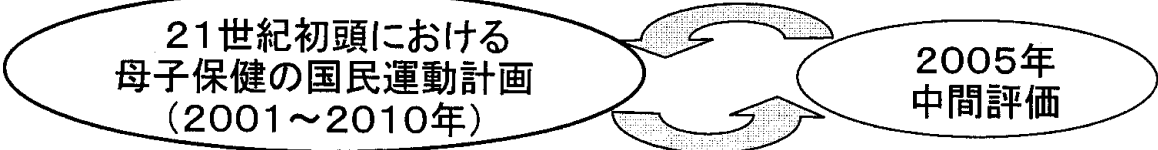
- 20世紀中に達成した母子保健の水準を低下させないために努力。
- 20世紀中に達成しきれなかった課題を早期に克服。
- 20世紀終盤に顕在化し、21世紀にさらに深刻化することが予想される新たな課題に対応。

4. 課題設定

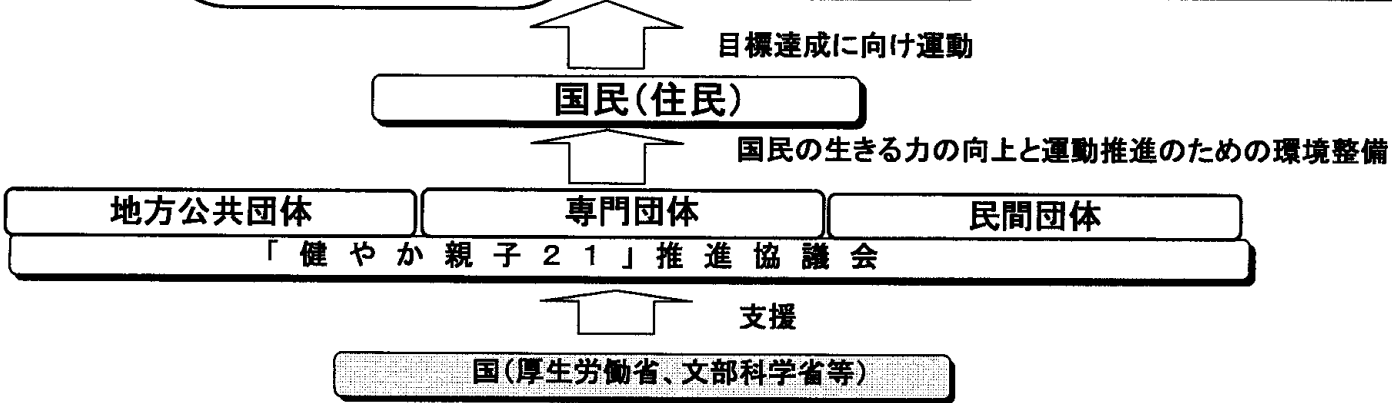
- 課題1 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進
- 課題2 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援
- 課題3 小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備
- 課題4 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減



「健やか親子21」の推進について



課題	①思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	②妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	③小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備	④子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減
主な目標 (2010年)	<ul style="list-style-type: none"> ○十代の自殺率(減少) ○十代の人工妊娠中絶実施率(減少) ○十代の性感染症罹患率(減少) ○15歳の女性の思春期やせ症の発生頻度(減少) 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊産婦死亡率(半減) ○産後うつ病の発生率(減少) ○周産期医療ネットワークの整備(47都道府県) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全出生数中の低出生体重児の割合(減少) ○不慮の事故死亡率(半減) ○初期・二次・三次の小児救急医療体制が整備されている都道府県の割合(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○虐待による死亡数(減少) ○育児に参加する父親の割合(増加) ○出産後1か月時の母乳育児の割合(増加)
親子	<p>応援期</p> <p>思春期</p>	<p>妊産婦期～産じょく期</p> <p>胎児期～新生児期</p>	<p>育児期</p> <p>新生児期～乳幼児期～小児期</p>	<p>育児期</p> <p>新生児期～乳幼児期～小児期</p>



「健やか親子21」と各種施策との関連

	健やか親子21	少子化対策、次世代育成支援対策	母子保健計画	健康日本21
平成2年(1990年)		「1.57ショック」少子化の認識が一般化		
3年(1991年)		『出生率の動向』を踏まえた対策 ・「健やかに子どもを育てる環境づくりについて」 (健やかに子どもを生み育てる環境づくりに関する関係省庁連絡会議)		
6年(1994年)				
8年(1996年)			母子保健計画策定	
9年(1997年)				
10年(1998年)		『少子化への対応の必要性』に基づく対策 ・「少子化に関する基本的な考え方について」(厚生省人口問題審議会) ・「夢ある家庭づくりや子育てができる社会を築くために(提言)」 (少子化への対応を考える有識者会議)		
11年(1999年)				
12年(2000年)	健やか親子21 検討会	『総合的な少子化対策』 ・「少子化対策推進基本方針」(少子化対策推進関係閣僚会議) ・「国民的な広がりのある取組みの推進について」 (少子化への対応を推進する国民会議)		
13年(2001年)	健やか親子21		「健やか親子21」 を踏まえた見直し	健康日本21
14年(2002年)		『少子化の流れを変える』ためのもう一段の対策(次世代育成支援対策)の推進 ・少子化社会を考える懇談会取りまとめ ・少子化対策プラスワン ・「次世代育成支援に関する当面の取組方針」(少子化対策推進関係閣僚会議) 「次世代育成支援対策推進法」成立 関係7省庁による「行動計画策定指針」公布		
15年(2003年)			行動計画に包含	
16年(2004年)		次世代育成支援推進法に基づく行動計画策定 少子化社会対策基本法に基づき新たな政府の大纲を策定		
17年(2005年)	中間評価・見直し	行動計画の推進(第一期目)		中間評価・見直し
22年(2010年)		行動計画の推進(第二期目)		
26年(2014年)		(平成27年3月31日まで)		

*「母子保健計画」は平成8年5月1日付け厚生省児童家庭局母子保健課長通知「母子保健計画の策定について」に基づき市町村が策定
平成13年8月2日付け厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知「市町村における母子保健計画の見直しについて」に基づき「健やか親子21」を踏まえ見直し

「健やか親子21」の推進状況について

1. 健やか親子21推進協議会の取組状況について

(参考資料『「健やか親子21」関連資料(母子保健レポート2002～2004)』参照)

(1) 健やか親子21推進協議会参加団体数

平成13年度	14年度	15年度	16年度
70	72	75	75

(2) 課題毎活動実績数(取組団体数)

推進協議会参加団体は年度末に活動実績報告と翌年度の行動計画を提出。それらはホームページにて公開するとともに総会資料(母子保健レポート)としてまとめている。表は活動実績として報告された数を示す。

	平成13年度	14年度	15年度
課題1(思春期)	37	32	29
課題2(妊娠・出産)	25	22	22
課題3(小児医療)	29	28	26
課題4(子どもの心)	45	44	41

(3) 総会開催状況

運動方針等重要事項の決定や団体間の連携強化のため総会を年1回開催。

第1回設立総会	平成13年4月20日	東京會館シルバースタールーム
第2回	平成14年12月25日	厚生労働省講堂
第3回	平成15年12月4日	厚生労働省講堂
第4回	平成16年12月2日	厚生労働省第18～20会議室

(4) 幹事会の取組

各課題ごとに幹事会を置き、取組の効果的な推進を図っている。

幹事会および全体会開催回数

	平成 13 年度	14 年度	15 年度	16 年度 (予定含む)
課題 1	1	1	2	3
課題 2	3	3	5	4
課題 3	5	6	5	4
課題 4	3	4	3	3

幹事団体

◎代表幹事

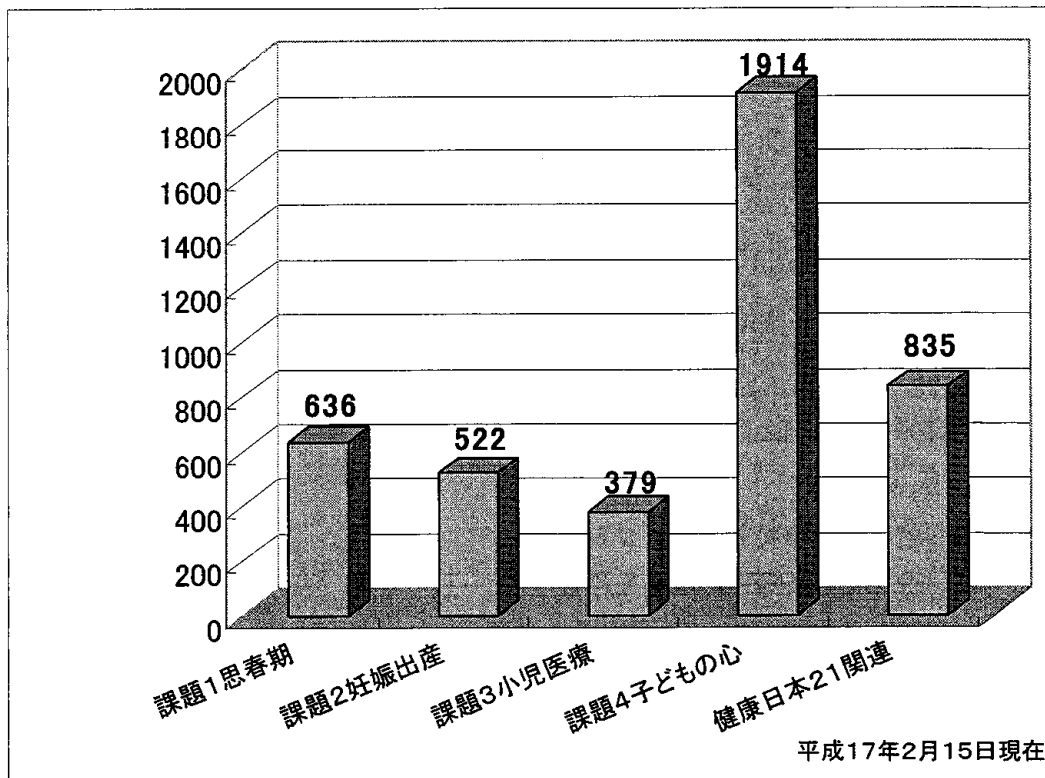
課題 1 (思春期)	日本児童青年精神医学会 日本家族計画協会 日本学校保健会 全国養護教諭連絡協議会 日本泌尿器科学会	◎
課題 2 (妊娠・出産)	日本母乳の会 日本産婦人科医会 日本産科婦人科学会 日本助産師会	◎
課題 3 (小児医療)	全国保健所長会 日本小児科医会 母子衛生研究会 難病のこども支援全国ネットワーク 日本看護協会 (日本小児科学会) (日本小児総合医療施設協議会)	◎年度毎に交代 ()はオブザーバー参加
課題 4 (子どもの心)	日本小児保健協会 児童虐待防止協会 全国児童相談所長会 全国保健師長会 全国保健センター連合会	◎

2. 地方公共団体の取組状況について

(1) 「健やか親子21」公式ホームページに登録されている取組状況

① 登録件数 平成17年2月15日現在 3,272件

② 「健やか親子21」課題別事業登録件数



③ 取組内容別の事業登録件数

(件)

		H15年11月15日	H17年2月15日
思春期	思春期における性教育の推進	377	425
妊娠・出産	いいお産 *H16年より追加		35
小児医療	小児医療の充実	91	106
	病気や障害のある子どもへの支援	281	335
	子どもの事故防止	284	331
子どもの心	虐待の発生予防	668	813
	地域の子育て支援の充実	1224	1494
その他	食育の推進	486	571
	妊娠中からの母子歯科保健の推進	293	327

(2) 母子保健計画の見直しにおける「健やか親子21」推進の状況

① 母子保健計画の策定状況

(平成9年度末)

	策定市町村数	割合 (%)
母子保健計画の策定	2, 849	89. 1

* 全市町村数 3, 198

② 母子保健計画の見直しの状況

(平成14年度末)

	見直し市町村数	割合 (%)
14年度までに見直し(予定)	2, 601	80. 1
15年度以降に見直し予定	334	10. 5

* 全市町村数 3, 170

* 未定・策定の予定なしの市町村数: 235

* 「見直し」には今回初めて策定の場合を含む

3. 国の取組状況について（参考資料3参照）

（1）普及啓発による推進

① 全国大会、公開シンポジウムの開催

<全国大会>

平成13年6月27日	日本教育会館	新世紀の母子保健～やさしい社会づくりを目指して～
平成14年11月14日	佐賀県	心の時代の母子保健～親と子のはあもにい～
平成15年11月6～7日	富山県	健やか親子で育む未来～水と緑といのちが輝く～
平成16年11月17日	宮城県	地域の力、親子の絆で健やか未来～食で健やか明るい笑顔～

<厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業公開シンポジウム>

平成13年2月27～28日	J Aホール	21世紀の母子保健を考える
平成14年3月12日	J Aホール	未来の明るい家族のために、今、何ができるのかー親子を支える地域社会をめざしてー
平成15年3月4日	J Aホール	子ども・家庭・社会の変化を見つめ直す～ともに学び、支え合う地域社会を目指して～
平成16年2月24日	労働スクエア	こどもが健やかに育つために～手をつなぐ地域と家庭～
平成17年3月4日(予定)	J Aホール	健やか親子を育み支える地域の力～生まれてきてくれてありがとう～

② 公式ホームページの開設（参考資料5参照）

平成13年7月25日開設 <http://rhino.yamanashi-med.ac.jp>

アクセス数 274,055件（平成17年2月17日現在）

③ ポスター、リーフレットの作成、配布

普及啓発用ポスター及びリーフレットを作成し、地方公共団体及び健やか親子21推進協議会参加団体に配布。

④ シンボルマークの活用推進

地方公共団体、健やか親子21推進協議会参加団体等が普及啓発の目的でシンボルマークを使用。

（2）厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）による推進（参考資料4参照）

各課題に即した研究課題及び総合的な研究課題により「健やか親子21」を推進。

	平成14年度	15年度	16年度
研究課題採択件数（件）	69	61	65
研究事業費（千円）	674,575	616,923	648,234